

練馬区の産業振興等に関する要望

2023年8月29日
東京商工会議所練馬支部

社会経済活動は回復傾向にあるものの、エネルギー・原材料価格の高騰によるコストは増加している。原材料価格等の高騰に対する価格転嫁は進捗しているものの、転嫁が一部にとどまる企業も存在するため、経営に大きな影響を及ぼしている。また、需要回復によって人手不足も深刻化しており、人材確保のための賃上げ圧力が高まっている。新型コロナウイルス関連融資の元本返済が開始される中で、コスト増加、人材確保や賃上げへの対応など厳しい状況に直面し、より深い資金繰り支援・経営改善支援が求められる。株式会社東京商工リサーチによると、2023年上期の全国倒産件数は前年同期に比べ3割増え、上期としては2020年以来3年振りに4,000件を上回った(4,042件)。加えて、経営者の高齢化、事業承継の準備が進んでいない企業は多く、このままだと黒字企業までもが休廃業となる危機にある。地域住民の生活基盤を支えている中小企業を支援することこそが、まちの活性化にも繋がるため、中小企業の経営改善と成長実現に向け、とりわけ練馬区においては次の項目について取り組むよう求める。

I. 事業者支援

1. 資金繰り改善支援

国（日本政策金融公庫）のマル経融資は、商工会議所の経営指導を受け、経営改善に必要な資金を少額から借入できる制度である。民間金融機関が主に取扱う都や区の制度融資（信用保証協会保証付）の枠を使い切った小規模事業者でも利用できるため、小規模事業者の資金繰りや経営改善に重要な役割を果たしている。ついては、東商練馬支部が取り扱うマル経融資に対して、次の2点について取り組むことを求める。

- ①練馬区が補助している従来のマル経融資への利子補給（40%）の継続とさらなる拡充（50%）
- ②マル経融資の利子補給期間を3年から5年へ延長（最短でも3年以上の利子補給期間の確保）

2. 人手不足・採用支援策の強化

人手不足・採用難を課題とする区内企業は多く、数年後には事業継続に支障を来すといった声もある。多くの企業が早急な人材確保および従業員教育を喫緊の課題と認識していることから、練馬区におかれては企業ニーズを踏まえたきめ細かい支援事業の実施を求める。

①区内事業者と区民のマッチング支援事業の実施

- ・就職斡旋ブースの開設
(石神井公園のワークサポートねりま、レインボーワークに加え、練馬駅付近にも設置)
- ・求人募集サイトの練馬区版の開設
- ・区内事業者と区民限定の就職説明会の開催
- ・企業側と教育機関のミスマッチングを減らす事業や場の提供
- ・採用における練馬区内事業所の優遇制度(動画情報追加やPR機会増加)の創設
- ・新卒以外の採用支援強化(高校・高専・大学生だけでなく、第二新卒や中途、外国人、幹部候補者)

②従業員教育・キャリアアップ支援

- ・正社員雇用における助成金制度の創設
- ・従業員への自己啓発意識の醸成、高齢従業員へのリカレント教育支援
- ・各種検定試験等への受験推進

3. 事業承継支援体制の充実

継続的な事業承継支援のおかげで中小企業の事業承継の意識は高まりつつある中で、依然として情報不足、準備不足により事業承継が進んでいない企業も多数ある。東京商工会議所では、ビジネスサポートデスク(東京都地域持続化支援事業(拠点事業))と共に、まずは現代表が「気づき」、経営状況の把握をすることから支援している。練馬区におかれても、弊所事業との連携を強化し次の項目について継続支援を求める。

- ①経営権の移行や株式の譲渡にかかる承継期間を考慮した早期着手の促進
- ②事業承継税制の利用促進に向けた周知活動の強化
- ③「特例承継計画」策定への支援(ねりサポでの継続支援)
- ④後継者不在企業に対するM&Aの推進として、東京都事業承継・引継ぎ支援センターとの連携強化

4. 原材料・エネルギー価格等の高騰における事業者支援

新型コロナウイルスによる需要の落ち込みから徐々に回復しつつも、原材料・エネルギー価格高騰および人件費の上昇により、中小企業のコストは増加し経営を圧迫し続けている。また、中小企業も賃上げが求められているが、エネルギー等の高騰分を価格に転嫁できていないことから、賃上げ原資の確保が困難な中小企業が多い。B to Cの価格転嫁の実現にあたっては、最終消費者による負担が不可欠だが、値上げに対して消費者が敏感であることから、消費停滞を恐れて値上げに踏み切れない企業も少なくない。値上げを受け入れてもらうため、中小企業の生み出した付加価値を含めた適正価格に対して最終消費者の理解が得られるよう啓発活動にも取り組まれない。

- ①政府が推進するパートナーシップ構築宣言への企業登録の促進と登録企業の優先契約・発注など強力な推進（各種補助金・助成金への加点要素への追加等）
 - ②社会保障費、人件費増加に対する支援（助成金等）
 - ③B to C事業者の円滑な価格転嫁を実現するため、付加価値を含めた適正価格での提供に対する最終消費者の理解促進に向けた啓発活動の実施
 - ④「カーボンニュートラル化設備設置等補助制度」におけるLED化改修を事業者も対象とする等、省エネ促進のための設備投資における企業への補助拡充
 - ⑤区内事業者へのeco検定（環境社会検定試験）[®]の受験料補助、周知呼びかけ
- ※他区の事例

目黒区「区内事業者への環境社会検定試験（eco検定）助成事業」では、受験にかかる費用を1事業者5人まで、半額を区より助成している。

5. 事業者のキャッシュレス化支援

区内小規模事業者からは、練馬区「PayPayキャンペーン」参加におけるキャッシュレス決済導入の促進と来客増加に繋がっているとの声が多い。引き続き事業の充実とともに、キャンペーン実施時における売上金立替期間の負担軽減をお願いしたい。

- ① PayPayキャンペーンの追加開催、事業規模の拡大
- ②キャッシュレス導入事業者への決済手数料補助、売上入金までのキャッシュフロー支援するため、キャンペーン実施時の入金サイトの短縮化を交渉いただきたい

6. 企業のDX支援

慢性的な人手不足を補うべく、中小企業においてもDX導入に高い関心が寄せられている。アプリケーションやクラウドサービスの普及と、コロナ禍における感染防止対策による非接触のビジネスモデル構築により、中小企業においてもデジタルツールの導入が進んでいる。しかし、次々に新しくなるツールや複数のサービスがあり、自社に合ったものを探すことに苦労し、実際の導入には至らない企業も多い。また、事業承継時は、後継者のイニシアティブの元、事業ドメインの再構築とともに社内の業務システムや機器を見直すことでDXの進展が期待できる。経費節減や人材不足の解消に向けて具体的なメリットを実感できるよう、支援策に取り組まれない。

- ①相談窓口の設置、導入事例の共有や費用対効果の説明会の実施
- ②特に、事業承継時のDX、機器・システム導入などへの支援や補助金制度の創設
- ③労務費削減に向けたICT導入の促進、事例共有

7. 創業支援

当支部も共催している一般社団法人練馬区産業振興公社の「創業！ねりま塾」の継続的实施、創業計画の策定支援により、創業者の増加、創業者同士のネットワーク構築に繋がっている。さらなる支援として、安価で利用しやすいオフィスと創業間もない時期をサポートできる、創業者向けインキュベーションオフィスやコワーキングスペースを開設いただきたい。

※他区の事例

大田区「ROKUGO BASE」

品川区「SHIP 品川産業支援交流施設」

豊島区「としまスタートアップオフィス」など

II. 都市整備に向けて

1. 都営大江戸線の整備について

- ①都営地下鉄大泉学園町までの早期開業、西大泉付近に配慮した延伸
- ②延伸後も光が丘駅始発の電車を残すこと

2. 企業のBCP対策・防災支援

いつ起こるか分からない自然災害などに対し、企業自ら危機を再認識し準備することで、被害を最小限にとどめ、迅速な復旧と事業存続に向けた自助的な対策を推進する必要がある。そこで企業の対策に対し、次の項目について支援されたい。

- ①企業内防災対策の補助
(発電機や蓄電池等の確保に向けた設備導入の費用や、災害備蓄品の更新費用への補助)
- ②練馬区の防災対策や備蓄量・帰宅困難者対策、災害時の交通規制に関する説明会の実施
- ③脱炭素も視野に再生可能エネルギーの導入・活用に加え、電力以外のエネルギーの多様化・多重化の重要性について周知・啓発を強化

3. 区内の空き家物件について

空き家活用専用窓口のおかげで、区内の空き家物件の所有者と活用希望団体とのマッチングが進んでいるが、さらなる空き家件数の減少に向け、活用側の対象拡大（企業や個人事業主などの就業応需、創業者向けスペースなどへの活用）や民間事業者と連携したマッチングスキームを設立いただきたい。

Ⅲ. 観光振興について

1. 豊島園跡地の再開発を契機とした回遊性の向上

練馬区においては、本年度、「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京 - メイキング・オブ・ハリー・ポッター」の開園や練馬区名誉区民である牧野富太郎博士のNHK連続テレビ小説「らんまん」に取り上げられたことを契機として、観光客・来訪者の呼び込みに繋がっている。これを契機に国内外の来訪者を増加させるとともに、区民の回遊性を向上させるべく、次の取り組みを求める。

- ①「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京 - メイキング・オブ・ハリー・ポッター」の区民優遇（予約優先や区民割引日の設定など）
- ②練馬区情報サイト「とっておきの練馬」HPに、観光情報だけでなく、飲食・小売店舗などの情報をさらに充実させたワンストップサイトの制作
- ③都市型農業の取り組みや地元食材を使用した飲食店や商品を、区内外へPR・周知させる事業の展開
- ④練馬区内にはアニメ産業に関わる会社が100社近くあり、東映アニメーションミュージアムや東映東京撮影所のある大泉学園地区を中心に、「映像の街」としてのPR強化、周知させる事業の展開

以上